

# 平成30年度 事業報告

(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)

## 1 はじめに

平成30年度の事業は、前年度に引き続き公益法人として、税知識の普及と納税意識の高揚を目指す活動をはじめ、公益目的の社会貢献事業を積極的に実施することができました。

個別の事業としては、定例研修会では「消費税の軽減税率制度」や「自主点検チェックシート・ガイドブックの活用」などのテーマで開催しました。

租税教室への講師派遣については女性部会、青年部会、税務経理研究部会などの参加者も増え、派遣先学校数、派遣講師数ともに増加しました。

地域イベントにおける税金展や税金クイズについては、担当支部の皆様のご努力により、事業計画に掲げた5つのイベント会場で延べ7日間にわたり税金展・税金クイズが実施できました。

これらの事業については、税務当局のご指導、ご支援をいただきながら引き続き納税意識の高揚を目指して実施していくきたいと考えています。

## 2 組織関係

厳しい社会情勢のなか、廃業などの理由により会員は減少傾向が続いています。平成28年度より新規会員の獲得をめざし報奨金制度を施行していますが、未だに会員の減少に歯止めがかからず、平成30年度は入会60社に対し、退会が146社で86社の減少となりました。

	会員数（内 特別会員）	加入率
平成30年3月末	3,401社（102社）	37.8%
平成31年3月末	3,315社（105社）	36.6%
増 減	△86社（3社）	△1.2%

部会名	会員数（平成31年3月末）
青年部会	63名
女性部会	91名
税務経理研究部会	39名

### 3 実施事業について

#### (1) 税をめぐる諸環境の整備、改善等を図るための事業（公益1事業）

##### イ 税知識の普及を目的とする事業

当会の事業として定着している定例研修会は、年6回2か所の会場で延べ12回開催しました。研修内容は改正税法の解説や、軽減税率制度（複数税率制度）のポイントと実務対応上の留意点などを中心に、実務に役立つものを取り上げています。

また、税務経理研究部会や、各支部での研修会も引き続き開催しているほか、一宮税務署のご協力を得て、税務署幹部の方々による講演会や税務研修会も実施しました。

##### ロ 納税意識の高揚を目的とする事業

①地域イベントに参加して開催した税金展や税金クイズを萩原町の「全国選抜チンドンまつり」、「稻沢まつり」、「祖父江イチョウ黄葉まつり」、「尾西まつり」、「JA 愛知西農協まつり」のイベント会場で、担当支部によって実施しました。

②青年部会は当年度初めての試みとして、小学校4年生から6年生を対象に「楽しんで知る税の勉強会」と題して1泊2日のサマーキャンプを実施しました。子どもたちには夏休みのひと時を楽しんでもらい、事業を成功裡に終了することができました。

③女性部会、青年部会ならびに税務経理研究部会などによる合同事業「租税教室講師派遣」では47名の講師を24の小学校へ派遣し、67回の授業を実施しました。

④平成24年度から実施している女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」は7回目を迎え、当年度は39の小学校から、1,861名の応募があり、前年度に比べ、参加校及び応募数ともに大幅に増加しました。

⑤広報事業では、前年度同様年3回、広報誌「つむぐ」を発行しました。今後も内容をより充実させ、税に対する意識高揚を図っていきます。

##### ハ 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

税制委員会を中心として、税制に対する意見を集約し、法人会としての提言を国会議員や地元の首長に手交してその実現を求める活動を行ってきました。

(2) 地域経済の活性化と、健全な発展を図るための事業（公益2事業）

イ 地域経済の健全な発展を図るための事業

非会員も対象に、著名人を招いての講演会を開催しました。

ロ 地域社会への貢献を目的とする事業

女性部会の社会貢献事業として、津軽三味線デュオ「輝＆輝」によるコンサートが盛大に開催され、多くの入場者により会場は満員御礼となりました。

(3) 会員の福利厚生に資する事業（収益事業）

イ 保険事業

会費と並び、法人会の財政基盤を支える大きな柱である保険事業は、全法連や愛知県連と連携を取りながら進め、順調な結果を残すことができました。

ロ 健康増進事業

会員企業の役員、社員のための人間ドックや生活習慣病予防健診の斡旋を実施しました。

ハ 広告掲載事業

会報誌を利用した広告については、従来通り提携先の保険会社を中心としたものです。

(4) その他（相互扶助等）の事業（その他事業）

会員の親睦を深めるために実施したバス研修は、当年度も会員皆様のご理解により、複数の支部による合同開催を積極的に行うことができました。

公益社団法人の目的として公益事業に重点が置かれますが、やはり会員あつての法人会であり、限られた予算の中でいかに会員の皆さんに法人会の加入メリットを享受してもらえるかを考えていきたいと思います。

実施事業の詳細は別表（事業一覧表）のとおりです。